

## 自分次第で 大学の景色が変わる

文&写真 学生記者 高崎莉世(文学部3年)

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます！中央大学に入学するには、指定校推薦やスポーツ推薦、一般入試などなど…。様々な形態がありますが、いずれにしてもみなさんの今までの努力が実を結びましたね。

このコラムを書いているのは2月中旬、つまりちょうど入学試験の時期です。昨日も私は部活動に行く途中、大学内で大勢の受験生を見かけました。

モノレールの車内を見渡せば、受験生らしき人たちが必死に参考書やノートをにらんでいて、私は密かに心の中で応援していました。今年は例年になく大雪に見舞われ、受験生のみなさんは大変だったと思います。

中には、本当は他の大学に行きたかったなあ…という人もいるかもしれません。私自身、中央大学が第一志望というわけではなかったので、入学当初は複雑な気分でした。

自宅最寄り駅で、通学定期券を購入する列にスーツ姿の新入生が自分の第一志望だった大学のバッグを下げている姿を見たときには、何とも言えない気持ちになったことを今でも覚えています(笑)。

そんな私ですが、大学3年生になった今、自分が中大生で本当によかった!と心から思っています。

中央大学には、自分の勉強を頑張る人たち、世界で活躍するアスリート、他にも様々な分野で活躍する魅力的な人たちが大勢います。

高校までの生活では出会うことのなかった人たちにたくさん出会い、たくさんの刺激を得られると思います。そういった意味で、大学では、机に向かって鉛筆を動かすこと以外にも、勉強になることがいろいろとあります。

しかし、そのような人たちと出会い、刺激を得て自分を成長させるためには「自ら行動する」ことが求められます。

周りの人たちを見て思うのは、思いきって新しい世界に飛び込んだり、興味のある分野をとことん突きつめたりしている人と、そうでない人との間には大き



中央大学サッカー部で使用しているボールです。私はサッカー部の広報兼本誌学生記者です

## 中大へようこそ WELCOME COLUMN

な差が生まれているということです。

大げさに聞こえるかもしれませんが、自分の行動次第で見える世界はどこまでも変わります。言い方を変えれば、大学生活を充実したより良いものにできるかどうかは、自分次第だということです。

私は、大学生になっていかに今まで自分は何も考えずに生きてきたのかを痛感しました(笑)。高校までは、敷かれたレールの上をただただ進んでいましたが、大学では、そのレールを敷くのは自分だと思えます。

4年間というとなつぷりあるように思う大学生活

ですが、実際はあっという間です。大学生の間でしかできないこともたくさんあるはずですよ。

入学当初は、慣れない土地で知らない人たちに囲まれ、数多くの部活やサークルに勧誘され、誰もが希望と不安を抱えていると思います。自分の居場所を見つけるまでは不安の消えない毎日かもしれませんが、焦ることなく、新しい世界に飛び込むことを恐れずに、様々なことにチャレンジしていきましょう。

そこには素敵な出会いや新たな発見が待っているはずですよ。そして、自分で手に入れた大学生活を思いきり楽しんでくださいね。

## 学生記者になりませんか？

『HAKUMON Chuo』は中大生が取材・編集する大学広報誌です。  
現在、学部在生を対象に学生記者を募集しています。



駅伝の応援に駆けつけた中大ファンを取材する学生記者



- 元新聞記者のプロや先輩の学生記者に、取材方法・原稿の書き方、添削指導を基礎から受けることができます。将来どんなキャリアをめざすにも文章力が重要です！
- 取材を通して、さまざまな人に出会うことができます。出会いの数ほど思い出ができることでしょう。
- 記者活動を通してコミュニケーション能力など「社会人基礎力」を身につけることができます。

---

**お申し込み・お問い合わせ** 中央大学広報室『HAKUMON Chuo』 編集担当：久保田茂信  
Phone : 042-674-2048(直通)  
E-mail : skubota@tamajs.chuo-u.ac.jp

---